

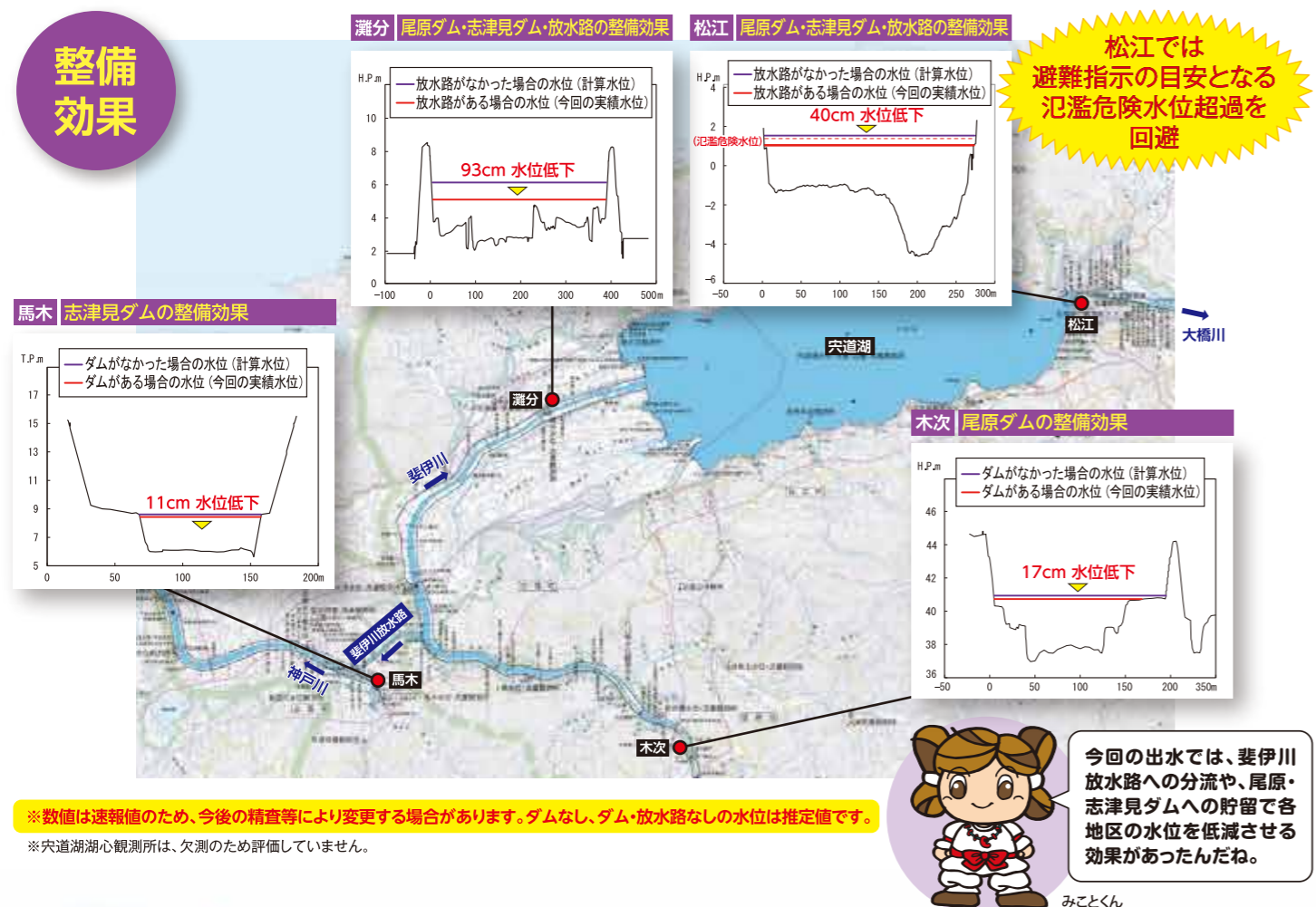
# 令和3年8月12日からの降雨における 斐伊川放水路、尾原・志津見ダムの整備効果

令和3年8月12日からの前線ともなう降雨の影響で、斐伊川流域では降り始めからの流域平均累加雨量が252.4mmを記録しました。

今回の出水では一連の降雨により、令和3年8月14日に斐伊川放水路へ最大約570m<sup>3</sup>/sを分流しました。  
(平成25年6月完成以降通算で17回分流(令和3年8月20日時点))

斐伊川では、斐伊川放水路と尾原ダム・志津見ダムを運用することにより、斐伊川下流(灘分)で93cm、松江地点(宍道湖)で40cmの水位低減効果があったと推定されました。結果として、松江水位観測所では避難指示の目安となる氾濫危険水位超過を回避しました。

また神戸川では、志津見ダムの運用と河川改修により、馬木地点にて11cmの水位低減効果があったと推定されました。  
※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。



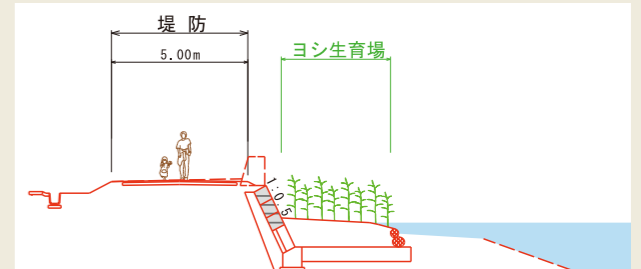
※数値は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。ダムなし、ダム・放水路なしの水位は推定値です。  
※宍道湖湖心観測所は、欠測のため評価していません。



2021.9  
Vol.62  
刊行/大橋川コミュニティセンター

## 福富地区の築堤護岸工事をしています。

福富地区では、平成26年度から水害から守るための堤防整備を開始し、令和3年度も継続して整備を進めているところです。護岸は自然に近い色合いの素材を使うことで景観にも配慮し、更にそこに生息する動植物の保護を両立した計画で進めています。表面に凹凸があるブロック材料を使う事で、カワザンショウガイ類など小動物の生育基盤になり自然との両立にも繋がります。また、環境保全措置の対象となるオオクグの移植を行い、築堤護岸前面にはヨシ帯を形成する事で自然との一体感も出します。



築堤護岸前面にヨシ帯を再生させ自然的な景観を創出する計画

## 朝酌矢田II遺跡で発掘された遺物の一部を展示しています。



令和2年の朝酌矢田II遺跡(松江市朝酌町)の発掘調査で、「出雲風土記」に記された官営の渡し場「朝酌渡」とみられる石敷の護岸が見つかりました。(大橋川通信61号を参照)  
す え き か め こ く よ う せ き  
須恵器や甕や黒曜石なども出土し、その一部を大橋川コミュニティセンターで展示しています。



展示協力:島根県埋蔵文化財調査センター

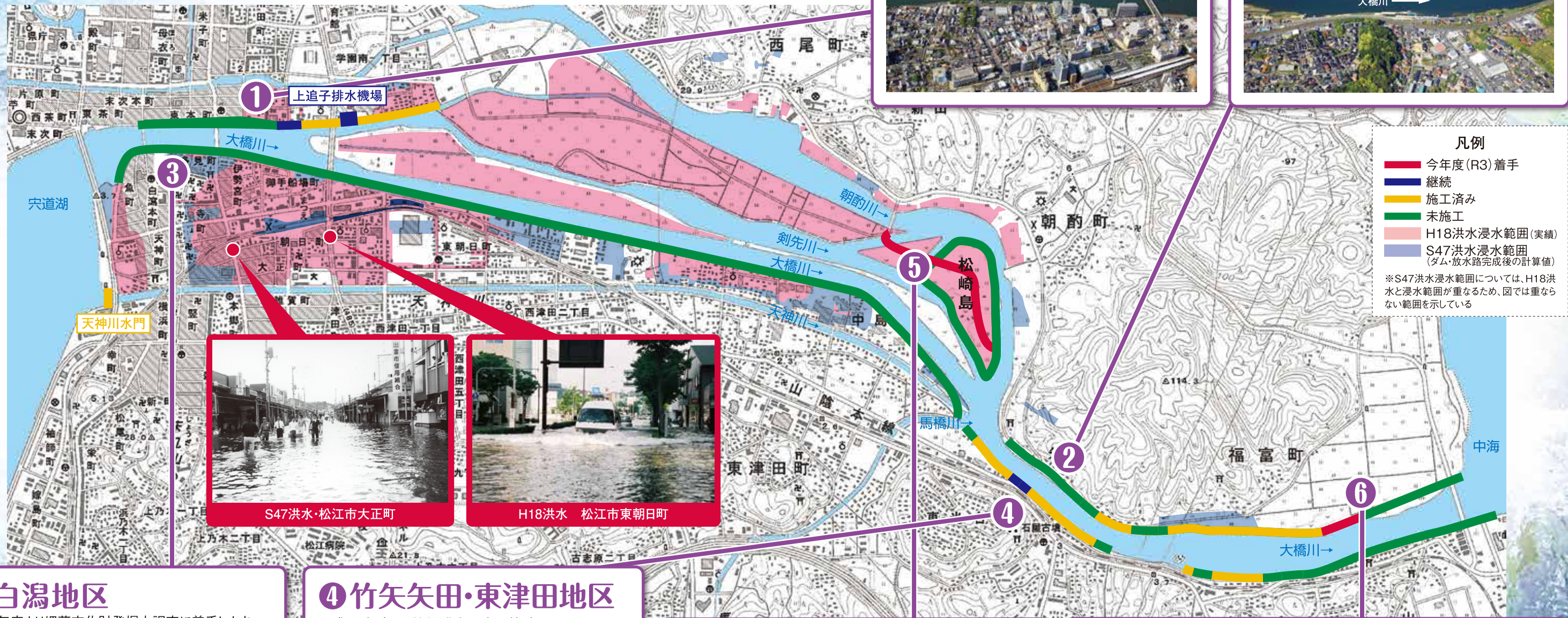
## 大橋川コミュニティセンター

[休館日] 土日祝祭日・年末年始 [開館時間] 9:30~16:00 [駐車場] なし  
〒690-0887 松江市殿町383番地 山陰中央ビル1階  
TEL (0852) 28-3621 FAX (0852) 28-3623  
E-mail : izumo@cgr.mlit.go.jp  
ウェブサイト : http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/comisen/



大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が共同して管理・運営をしています。

# 令和3年度の大橋川改修工事予定



### ① 城東地区

令和2年度に上追子排水機場が完成しました。今年度も東本町地区の築堤護岸工事を実施します。

### ② 朝酌矢田地区

令和2年度に埋蔵文化財発掘本調査を実施しました。今年度も引き続き用地協議を行います。



### ③ 白潟地区

令和3年度より埋蔵文化財発掘本調査に着手します。今年度も引き続き用地協議を行います。

### ④ 竹矢矢田・東津田地区

平成25年度より築堤護岸工事に着手しています。今年度も引き続き、築堤護岸工事を実施します。

### ⑤ 松崎島

令和3年度より工事用道路工事に着手。道路土工・舗装工・仮橋仮栈橋工などの施工の準備を行っています。

### ⑥ 福富地区

平成26年度より排水門工事に着手。平成27年度より築堤護岸工事に着手。令和3年度は、地盤改良工・護岸工・根固工のため迂回路設置を実施。環境保全措置の対象となる植物の移植も行っています。